

## 講演題目

### 蓄電技術を応用した蓄電システムの動向

## 講演者プロフィール ※11月25日現在

パナソニック株式会社

オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 インダストリアル事業開発センター

環境・インフラ事業開発統括グループ 参事

大森 正氏



- ・1982年 埼玉大学電気工学科卒業後、松下通信工業株式会社入社。以来、家庭用多機能電話（自動ダイヤル、スピーカホン等）、コードレス電話、PHS等のハード・ソフト開発設計に従事。
- ・2000年 北米NJ州 北米松下通信開発センターに出向。  
IPネットワークにおけるVoIPシステムの開発マネージャー。
- ・2002年 PHSデータ通信カードプロジェクトマネージャー、WLAN要素技術開発プロジェクトマネージャ、デバイス開発グループマネージャー等を歴任。
- ・2006年 金沢工業大学 虎ノ門キャンパス 知的創造システム専攻ITコース修了。
- ・2011年 パナソニックエレクトロニックデバイス株式会社に異動し、デバイスインテグレーショングループのマネージャ 等を歴任。
- ・MCPC認定シニアモバイルシステムコンサルタント

## 講演概要

蓄電技術、蓄電デバイスを応用した蓄電システムが、現在どのような産業分野で用いられているかを紹介する。できるだけ具体的に車分野や環境インフラ分野で用いられている蓄電システムを取り上げると共に、蓄電システムでどのような制御が行われているかも説明する。さらに将来蓄電システムがどのような進化をしてゆくかについても予測し、創電、省電との関係において、蓄電システムの果たす役割の重要性を説明する。